

誰でもできる 作曲ソフト4

画面・各部の説明

よくあるお問い合わせ

※シリアルナンバーは、同梱されている冊子の
取り扱い説明書の表紙に貼付されています。

IRT software

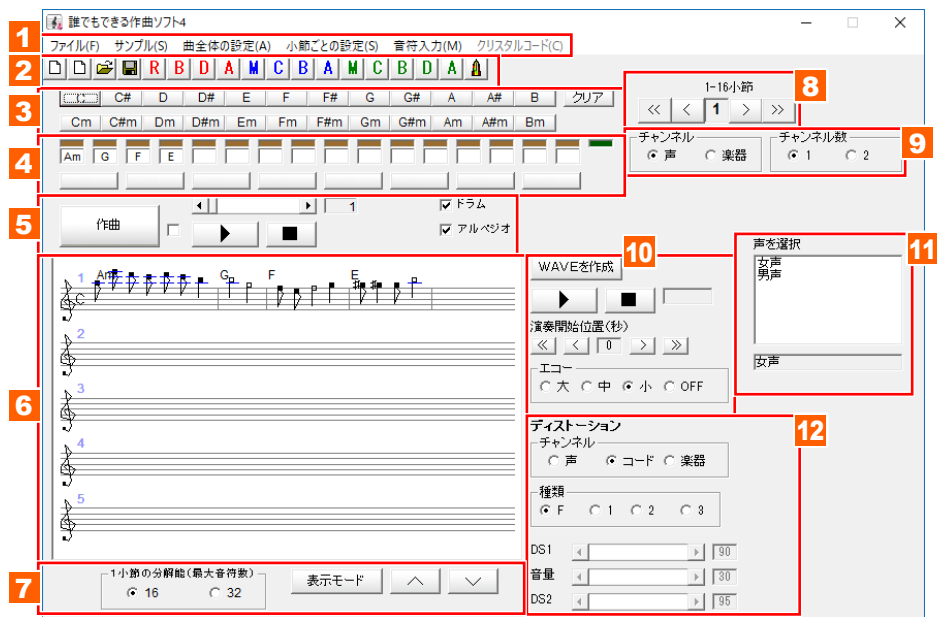
画面・各部の説明

メイン画面	03～14	
リズムパターン画面・リズムパターンを編集画面	15～16	
ベースパターン画面・ベースパターンを編集画面	17～18	
ドラムパターン画面・ドラムパターンを編集画面	19～20	
アルペジオパターン画面	21	
テンポ画面	22	
音色画面	23	
音量画面	24	
ステレオ画面	25	
自動コード画面	26	
小節の挿入と削除画面	27	
コードを作成画面	28	
小節ごとの設定	メロディー画面・メロディーページ画面	29
	コード画面・コードページ画面	30
	ベース画面・ベースページ画面	31
	ドラム画面・ドラムページ画面	32
	アルペジオ画面・アルペジオページ画面	33
音符入力画面	34～37	
小節の選択画面	38	
メロディーのコピー貼り付け画面	39	
音符の長さを調整画面	40	
Crystalchord画面	41～44	
よくあるお問い合わせ	45～49	
お問い合わせ窓口	50～51	

画面・各部の説明

メイン画面

「誰でもできる作曲ソフト4」を起動すると、下のような画面が表示されます。



1 メニューバー (4～7ページ)

2 ツールバー (7～8ページ)

3 コードボタン (9ページ)

4 コード表示エリア (10ページ)

5 MIDIファイル編集設定 (11ページ)

6 楽譜表示エリア (12ページ)

7 楽譜表示設定 (12ページ)

8 ページ選択ボタン (12ページ)

9 チャンネル設定 (13ページ)

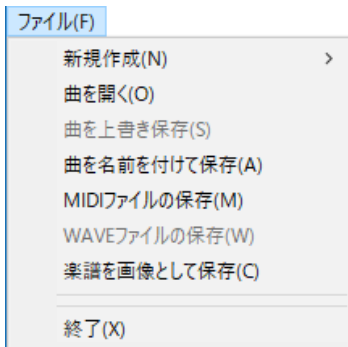
10 WAVEファイル編集設定 (13ページ)

11 声を選択 (14ページ)

12 ディストーション設定 (14ページ)

画面・各部の説明

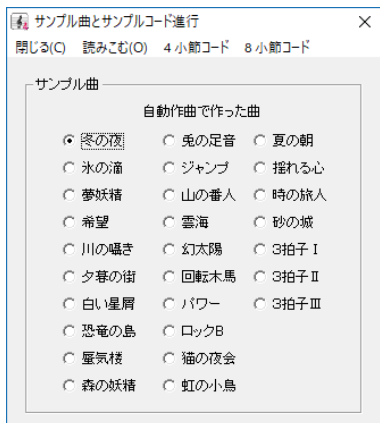
1 メニューバー



ファイルメニュー

サンプル(S)

サンプルメニュー



「サンプル曲とサンプルコード進行」画面

新規作成 ▶

3 拍子の曲を作る(3)

4 拍子の曲を作る(4)

「3拍子の曲を作る／4拍子の曲を作る」どちらかを選択して新規で曲を作成します。

曲を開く

保存した曲のデータを開きます。

曲を上書き保存

保存している曲のデータに上書き保存します。

曲を名前を付けて保存

作曲した曲を名前を付けて保存します。(拡張子: dmu)

MIDIファイルの保存

MIDIファイルを保存します。(拡張子: mid)

WAVEファイルの保存

WAVEファイルを保存します。(拡張子: wav)

楽譜を画像として保存

作曲した曲の楽譜をBMP形式の画像ファイルで保存します。(拡張子: bmp)

終了

ソフトを終了します。

[サンプル]メニューをクリックすると、「サンプル曲とサンプルコード進行」画面が表示されます。

閉じる

「サンプル曲とサンプルコード進行」画面を閉じます。

読みこむ

選択したサンプル曲をメイン画面に読み込みます。

4小節コード

4小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

8小節コード

8小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

サンプル曲

収録されている27種類のサンプル曲をリスト表示しています。

1つ選択してメニューの[読みこむ]をクリックすると、選択したサンプル曲がメイン画面に読み込まれます。

画面・各部の説明

曲全体の設定(A)

リズム(R)	
ベース(B)	
ドラム(D)	
アルペジオ(A)	
テンポ(T)	
音色(O)	>
音量(V)	>
ステレオ(S)	>
調を変える(K)	>
自動コード(A)	
小節の挿入と削除(C)	
コードを作成(E)	

曲全体の設定メニュー

用語集



アルペジオ

分散和音及びその奏法。
和音の各音を同時にではなく、
下または上から順番に演奏します。

例



和音



アルペジオ

リズム

「リズムパターン」画面を表示します。(画面詳細15ページ)

ベース

「ベースパターン」画面を表示します。(画面詳細17ページ)

ドラム

「ドラムパターン」画面を表示します。(画面詳細19ページ)

アルペジオ

「アルペジオパターン」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

テンポ

「テンポ」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

音色

メロディー

「メロディーの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

コード

「コードの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

ベース

「ベースの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

アルペジオ

「アルペジオの音色」画面を表示します。(画面詳細22ページ)

音量

メロディー

「メロディーの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

コード

「コードの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

ベース

「ベースの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

ドラム

「ドラムの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

アルペジオ

「アルペジオの音量」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

ステレオ

メロディー

「メロディーのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

コード

「コードのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

ベース

「ベースのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

ドラム

「ドラムのステレオ」画面を表示します。(画面詳細23ページ)

アルペジオ

「アルペジオのステレオ」画面を表示します。

(画面詳細23ページ)

画面・各部の説明

曲全体の設定(A)

リズム(R)
ベース(B)
ドラム(D)
アルペジオ(A)
テンポ(T)
音色(O) >
音量(V) >
ステレオ(S) >

調を変える(K) >
自動コード(A)
小節の挿入と削除(C)
コードを作成(E)

曲全体の設定メニュー

小節ごとの設定(S)

メロディー(M)
コード(H)
ベース(B)
ドラム(D)
アルペジオ(A)
固定小節の解除(K) >

小節ごとの設定メニュー

固定小節の解除 ▶

メロディーの音色、音量(M)
リズムパターン(R)
コードの音色、音量(C)
ベースパターン(B)
ベースの音色、音量(A)
ドラムパターン(D)
ドラムの音量(E)
アルペジオパターン(F)
アルペジオの音色、音量(G)

調を変える

半音上げる

表示された楽譜の音階を半音上げます。

半音下げる

表示された楽譜の音階を半音下げます。

1オクターブ下げる

表示された楽譜の音階を1オクターブ下げます。

自動コード

「自動コード」画面を表示します。(画面詳細24ページ)

小節の挿入と削除

「小節の挿入と削除」画面を表示します。(画面詳細25ページ)

コードを作成

「コードを作成」画面を表示します。(画面詳細26ページ)

メロディー

小節ごとのメロディーの音色、音量、ステレオを設定します。

コード

小節ごとのリズムのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

ベース

小節ごとのベースのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

ドラム

小節ごとのドラムのパターン、音量、ステレオを設定します。

アルペジオ

小節ごとのアルペジオのパターン、音色、音量、ステレオを設定します。

固定小節の解除

固定小節を解除します。

※固定小節とは、曲全体の音量などを変えても変化しない小節です。

左記のメニューから解除する項目を選択します。

画面・各部の説明

音符入力(M)

音符入力メニュー

「音符入力」画面を表示します。(画面詳細32ページ)

クリスタルコード(C)

クリスタルコードメニュー

「Crystalchord」画面を表示します。(画面詳細40ページ)

※クリスタルコード

このソフトでは、曲に透明感のあるダイナミックなコード(和音)を付ける機能のこと입니다。

2 ツールバー



3拍子の曲を作る

3拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[3拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



4拍子の曲を作る

4拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[4拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



開く

保存した曲(拡張子:dmu)のデータを開きます。

[ファイル]→[曲を開く]と同じ動作をします。



上書き保存

現在開いているファイルを上書き保存します。

[ファイル]→[曲を上書き保存]と同じ動作をします。



リズムパターン

「リズムパターン」画面を表示します。(画面詳細15ページ)

[曲全体の設定]→[リズム]と同じ動作をします。



ベースパターン

「ベースパターン」画面を表示します。(画面詳細17ページ)

[曲全体の設定]→[ベース]と同じ動作をします。



ドラムパターン

「ドラムパターン」画面を表示します。(画面詳細19ページ)

[曲全体の設定]→[ドラム]と同じ動作をします。



アルペジオパターン

「アルペジオパターン」画面を表示します。(画面詳細21ページ)

[曲全体の設定]→[アルペジオ]と同じ動作をします。

画面・各部の説明



メロディーの音色

メロディーの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[メロディー]と同じ動作をします。



コードの音色

コードの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[コード]と同じ動作をします。



ベースの音色

ベースの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[ベース]と同じ動作をします。



アルペジオの音色

アルペジオの音色画面を表示します。(詳細は22ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



メロディーの音量

メロディーの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[メロディー]と同じ動作をします。



コードの音量

コードの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[コード]と同じ動作をします。



ベースの音量

ベースの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[ベース]と同じ動作をします。



ドラムの音量

ドラムの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[ドラム]と同じ動作をします。



アルペジオの音量

アルペジオの音量画面を表示します。(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



テンポ

テンポ画面を表示します。(詳細は21ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[テンポ]と同じ動作をします。

画面・各部の説明

3 コードボタン



[C] [C#] [D] [D#] [E] [F] [F#] [G] [G#] [A] [A#] [B]
[Cm] [C#m] [Dm] [D#m] [Em] [Fm] [F#m] [Gm] [G#m] [Am] [A#m] [Bm]

上記24種類のコードがボタン表示されています。

コードボタンをクリックしていくと、
「コード表示エリア」のコード入力ボックスに

1小節から順にコード入力されます。

小節ごとにコードを設定します。



1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、

1小節の分解能(最大音符数)※を「32」を選択します。

※詳細は12ページ

【 クリア 】

設定されている後ろのコードから順にクリアしていきます。

画面・各部の説明

4 コード表示エリア

①コード入力位置表示ボックス(インジケータ)



②コード入力ボックス

③ 固定設定ボタン

①コード入力位置表示ボックス(インジケータ)

茶色に表示されているところをクリックすると緑色に変わります。

クリック！



緑色表示の状態、コードボタンをクリックすると、この小節にコードが入力されます。選択した小節のコード変更ができます。
緑色の位置が一番右端にあるときは、コードボタンをクリックすると、曲の終了位置にコードが追加され、曲が長くなっていきます。

②コード入力ボックス

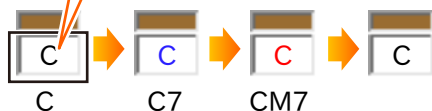
コードボタンをクリックすると、ここにコードが入力されます。

1番左に1小節目のコードが表示され、順に右方向に小節が増えていきます。

ここを**左クリック**すると・・・

表示されているコードの色が青・赤・黒と変化します。
色が変わるとコードが変化します。

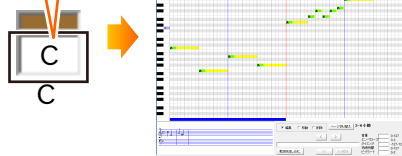
左クリック！



ここを**右クリック**すると・・・

「音符入力」画面が表示されます。
クリックした小節部分を表示します。

右クリック！



③ 固定設定ボタン

メロディーが変更されないように固定するボタンです。固定にすると、自動作曲機能が適用されません。

16分解能の場合は1ボタンで2小節分、32分解能の場合は1ボタンで1小節分になります。



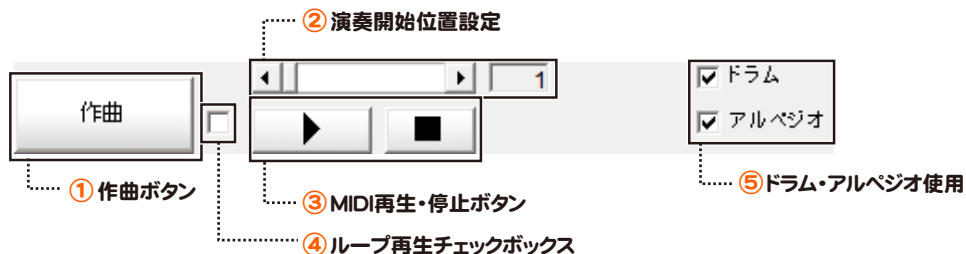
クリックするごとに切り替わります

固定 作曲 ボタンをクリックしてもその小節のメロディーは変わりません。

作曲 ボタンをクリックすると、その小節のメロディーは自動作曲されます。

画面・各部の説明

5 MIDIファイル編集設定



① 作曲ボタン



クリックすると、曲が更新されます。
各種設定を変更したら、曲を聴く前にボタンをクリックします。

② 演奏開始位置設定

つまみをドラッグして、演奏 (MIDIファイル) 開始位置の小節番号を設定します。

③ MIDI再生・停止ボタン



再生中、左側には小節数、右側には演奏時間 (秒) が表示されます。

小節表示は、分子は現在演奏されている小節、分母は全小節数です。



MIDIファイルの曲を再生します。



再生中のMIDIファイルの曲を停止します。

④ ループ再生チェックボックス

チェックを入れると、MIDIファイルの曲を繰り返し再生します。

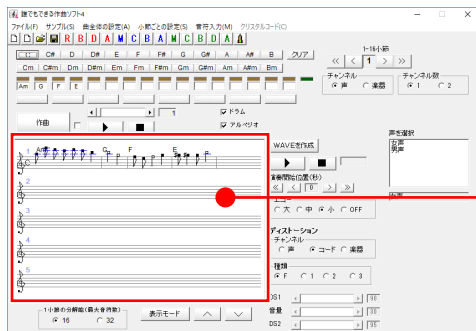
⑤ ドラム・アルペジオ使用

ドラムとアルペジオを使用する場合は、クリックしてチェックマークを入れます。

作曲 ボタンをクリックするとMIDIファイルが更新されます。

画面・各部の説明

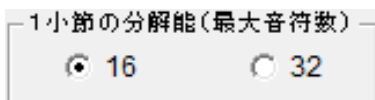
6 楽譜表示エリア



楽譜表示エリア

設定したコードや音符が楽譜に表示されます。
曲の変更が更新されると、
楽譜の表示が変わります。

7 楽譜表示設定



1小節の分解能(最大音符数)

○をクリックして、1小節に使用できる最大音符数を選択します。
1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、「32」を選択します。

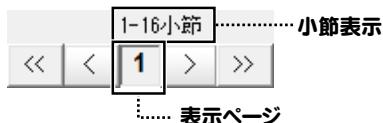
表示モード

楽譜の高音部だけを表示するか、低音部も一緒に表示するかを選択します。

^^ 楽譜表示切替ボタン

長い楽譜を作成した場合に画面外の楽譜を表示します。

8 ページ選択ボタン



小節表示

現在表示されているページの小節番号の範囲を表示します。

<<

現在表示されているページから10ページ単位で前ページを表示します。

<

現在表示されているページのひとつ前のページを表示します。

表示ページ

現在表示されているページ数を表示します。

>

現在表示されているページのひとつ後のページを表示します。

>>

現在表示されているページから10ページ単位で後ろのページを表示します。

画面・各部の説明

9 チャンネル設定

チャンネル ☒ 声 ☐ 楽器	チャンネル数 ☒ 1 ☐ 2
--	--

声のメロディー



楽器のメロディー



チャンネル

○をクリックして、編集するチャンネル「声／楽器」を選択します。

チャンネル数

メロディーに「声」だけを使う場合はチャンネル数を「1」にします。

メロディーに「声」と「楽器」を使う場合はチャンネル数を「2」にします。

メロディーに「声」と「楽器」を使う曲でも、一時的に「声」だけを試聴したい場合などはチャンネル数を「1」にします。

10 WAVEファイル編集設定

WAVEを作成	WAVEファイル作成状況表示ボックス
  	
演奏開始位置(秒)	
  0  	
エコー	
☐ 大 ☐ 中 ☒ 小 ☐ OFF	

WAVEを作成ボタン

MIDIファイルと歌詞データ、設定した音色などを元にWAVEファイルを作成します。



WAVEファイル再生ボタン

WAVEファイルで作られた曲を再生します。



WAVEファイル停止ボタン

再生中(WAVEファイルの曲)を停止します。

作成中	完了
-----	----

WAVEファイル作成状況表示ボックス

「WAVEを作成」ボタンをクリック後、ファイルの作成状況を表示します。

演奏開始位置(秒)

WAVEファイルの演奏開始位置を秒単位で設定します。

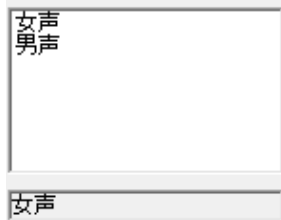
エコー

歌声にエコーをかけます。エコーのレベルは、大中小の3段階とOFFで設定します。

画面・各部の説明

11 声を選択

声を選択



2種類の声の中から、使用する声を選択します。
選択しているファイル名は、下に表示されます。

12 ディストーション設定

ディストーション

チャンネル

☐ 声 ☒ コード ☐ 楽器

種類

☒ F ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

DS1

音量

DS2

ディストーション

歪みを発生させて、音色を加工する効果のことをいいます。

チャンネル

ディストーションを設定する項目を選択します。

「○歌声 ○コード ○楽器」の○をクリックして選択します。

種類

○をクリックして、使用するディストーションを選択します。

F…ディストーションを使わない場合

1…ディストーション1(DS1)を使う場合

2…ディストーション2(DS2)を使う場合

※音量の設定はありません。

3…ディストーション1(DS1)と2(DS2)を同時に使う場合

※音量設定は、DS1のみに有効

DS1

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1(DS1)の振幅を調節します。

波形の上下をカットすることで、「ギューン」というサウンドを作ります。

(ギターに使うディストーションと同じ原理です)

波形の上下をカットするため振幅が小さくなりますが、カット後に元の波形と同じ大きさに増幅します。

そのため、音が大きくなりすぎる場合は「音量」で調整してください。

音量

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1(DS1)の音量を調節します。

※ディストーション2(DS2)には、音量の設定はありません。

DS2

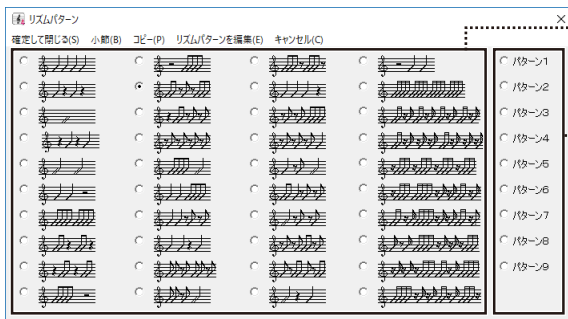
つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション2(DS2)の振幅を調節します。

解像度を粗くすることで、「ガサガサッ」というサウンドを作ります。

画面・各部の説明

リズムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[リズム]を選択します。



収録リズムパターン一覧

パターン1～9

確定して閉じる

選択したリズムパターンを確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。(画面の詳細は下記をご覧ください)

リズムパターンを設定する小節範囲を設定します。

コピー

収録している40種類のリズムパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

リズムパターン編集

「リズムパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は16ページをご覧ください)

パターン1～9のリズムパターンを編集します。

キャンセル

リズムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

収録リズムパターン一覧

40種類のリズムパターンが表示されています。使用するリズムパターンを選択します。

パターン1～9

「リズムパターン編集」で作成したパターンを使用する時に選択します。

「小節(範囲指定)」画面



小節番号

閉じる

範囲指定した小節に、選択しているパターンを確定して画面を閉じます。

◀◀ ▶▶

小節番号の表示を、100単位で切り替えます。

◀ ▶

小節番号の表示を、10単位で切り替えます。

◀ ▶

小節番号の表示を、1つ前、1つ後ろにします。

小節番号

上段に範囲指定の始まり、下段に範囲指定の終わりを設定します。

上段は、下段より大きい数値は設定できません。

画面・各部の説明

リズムパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[リズム]→[リズムパターンを編集]を選択します。



点灯表示 (編集『青』・コピー『赤』)

パターン番号ボタン

コピーボタン

1小節分の編集画面が表示されます。

ファイルメニュー

ファイル(F)

- リズムパターンを読み込む(O)
- 上書き保存(S)
- 名前を付けて保存(A)
- 閉じる(C)

リズムパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したリズムパターンなどを読み込みます。(拡張子 .rh4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

上書き保存

現在表示しているリズムパターンデータに上書き保存します。

名前を付けて保存

現在表示しているリズムパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

閉じる

「リズムパターンを編集」画面を閉じます。

黒点 音がです。演奏位置をクリックすることにより、表示/非表示になります。

クリア 表示しているパターンの黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているリズムパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

点灯表示 (編集『青』・コピー『赤』)

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして表示します。

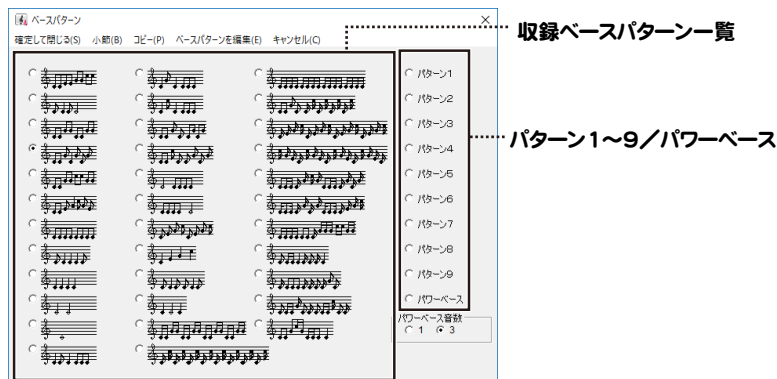
コピー(C)ボタン

パターン番号のとなりにあるコピー(C)ボタンをクリックすると、その番号のリズムパターンをコピーします。コピー先の番号をクリックするとリズムパターンがコピーされます。

画面・各部の説明

ベースパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]を選択します。



確定して閉じる

選択したベースパターンを確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲設定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

ベースパターンを設定する小節範囲を設定します。

コピー

収録している35種類のベースパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

ベースパターン編集

「ベースパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は18ページをご覧ください)

パターン1～9/パワーベースのベースパターンを編集します。

キャンセル

ベースパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

収録ベースパターン一覧

35種類のベースパターンが表示されています。使用するベースパターンを選択します。

パターン1～9

「ベースパターン編集」で作成したベースパターンを使用する時に選択します。

パワーベース

複雑でパワフルなベースパターンを自動的に作成します。

パワーベースを選択している間は、「作曲」ボタンをクリックすると、前回とは違うベースパターンが演奏されます。

気に入ったベースパターンが出てくるまで、何回か「作曲」ボタンと再生ボタンをクリックしてください。

気に入ったベースパターンは、パターン1～9に保存できます。

パワーベース音数

○をクリックして、パワーベース使用時のベースの構成音の数を設定します。

○1 例:Cコードの演奏の時は、3オクターブと4オクターブの「ド」を使います。

○3 例:Cコードの演奏の時は、3オクターブと4オクターブの「ド」「ミ」「ソ」を使います。

画面・各部の説明

ベースパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]→[ベースパターンを編集]を選択します。



点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

パターン番号ボタン

コピーボタン

1小節分の編集画面が表示されます。

ファイル(F)

ベースパターンを読み込む(O)

上書き保存(S)

名前を付けて保存(A)

閉じる(C)

ベースパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したベースパターンなどを読み込みます。(拡張子 .be4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

上書き保存

現在表示しているベースパターンデータに上書き保存します。

名前を付けて保存

現在表示しているベースパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

閉じる

「ベースパターンを編集」画面を閉じます。

黒点 音がです。演奏位置をクリックするごとに、表示/非表示になります。

クリア 表示しているパターンの黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているベースパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

点灯表示 (編集『青』)・コピー『赤』

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして表示します。

コピー(C)ボタン

パターン番号のとなりにあるコピー(C)ボタンをクリックすると、その番号のベースパターンをコピーします。コピー先の番号をクリックするとベースパターンがコピーされます。

画面・各部の説明

ドラムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]を選択します。



収録ドラムパターン一覧

パターン1～9／パワードラム

確定して閉じる

選択したドラムパターンを確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲設定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

ドラムパターンを設定する小節範囲を指定します。

コピー

収録している79種類のドラムパターンを、パターン1～9にコピーして編集できます。

ドラムパターン編集

「ドラムパターンを編集」画面を表示します。(画面詳細は20ページをご覧ください)

パターン1～9／パワードラムのドラムパターンを編集します。

キャンセル

ドラムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

収録ドラムパターン一覧

79種類のドラムパターンが表示されています。使用するドラムパターンを選択します。

パターン1～9

「ドラムパターン編集」で作成したドラムパターンを使用する時に選択します。

パワードラム

複雑でパワフルなドラムパターンを自動的に作成します。

パワードラムを選択している間は、「作曲」ボタンをクリックするごとに、前回とは違うドラムパターンが演奏されます。

気に入ったドラムパターンが出てくるまで、何回か「作曲」ボタンと再生ボタンをクリックしてください。

気に入ったドラムパターンは、パターン1～9に保存できます。



選択しているドラムパターンを再生します。

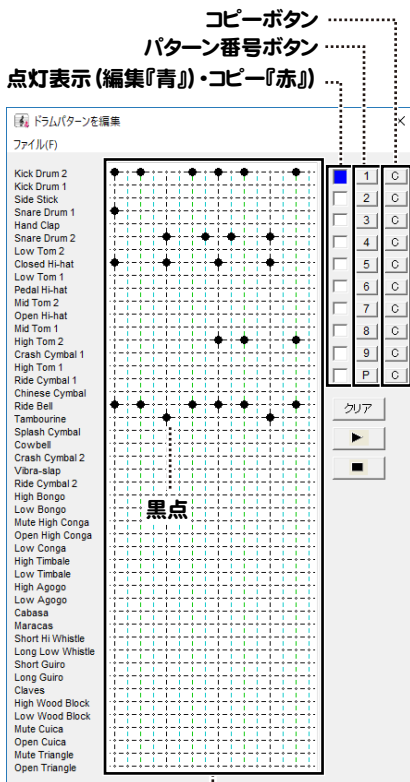


再生中のドラムパターンを停止します。

画面・各部の説明

ドラムパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]→[ドラムパターンを編集]を選択します。



ドラムパターン表示・編集エリア

1小節分の編集画面が表示されます。

ファイル(F)

ドラムパターンを読み込む(O)

上書き保存(S)

名前を付けて保存(A)

閉じる(C)

ドラムパターンを読み込む

他のファイルで作成・保存したドラムパターンなどを読み込みます。(拡張子 .de4)

※現在表示しているパターンに読み込みます。

9種類まとめて読み込むことはできません。

上書き保存

現在表示しているドラムパターンデータに上書き保存します。

名前を付けて保存

現在表示しているドラムパターンデータを名前を付けて保存します。

※現在表示しているパターンのみ保存します。

9種類まとめて保存することはできません。

閉じる

「ドラムパターンを編集」画面を閉じます。

ドラムパターン表示・編集エリア

縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。

演奏位置クリックして、ドラムパターンを編集します。

黒点 音がです。演奏位置をクリックすることにより、表示/非表示になります。

クリア 表示している黒点をすべて消去します。

▶ 表示しているドラムパターンを再生します。

■ 再生を停止します。

点灯表示(編集『青』)・コピー『赤』)

現在編集しているパターンは、青色 ■ になります。

コピーボタン(C)をクリックすると赤色 ■ になります。

その番号のドラムパターンをコピーします。

パターン番号ボタン

編集するパターン番号ボタンをクリックして

ドラムパターン表示・編集エリアに表示します。

コピー(C)ボタン

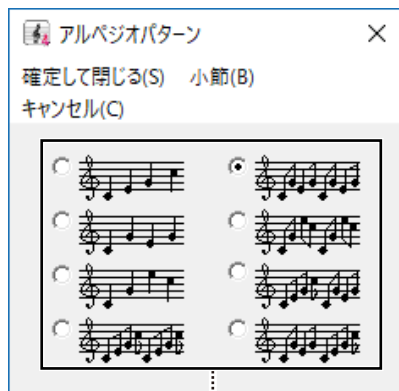
コピー(C)ボタンをクリックすると、そのパターン番号のドラムパターンをコピーします。

コピー先の番号をクリックするとコピーしたドラムパターンが貼り付けられています。

画面・各部の説明

アルペジオパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[アルペジオ]を選択します。



アルペジオパターン一覧

1小節分のアルペジオパターンの種類を表示します。

確定して閉じる

選択したアルペジオパターンに確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。

(画面の詳細は15ページをご覧ください)

アルペジオパターンを設定する小節範囲を指定します。

キャンセル

アルペジオパターンを変更せずに画面を閉じます。

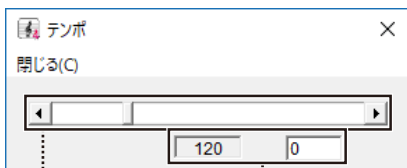
アルペジオパターン一覧

8種類のアルペジオパターンが表示されています。

使用するアルペジオパターンの○をクリックして選択します。

テンポ画面

[曲全体の設定]メニュー→[テンポ]を選択します。



テンポ表示欄

テンポ調節バー

閉じる

調節したテンポ数を確定して、画面を閉じます。

テンポ調節バー

つまみをドラッグで左右に移動して、テンポ速度を調節します。

テンポ表示欄

テンポ調節バーで調節したテンポが表示欄が表示されます。右の入力欄でテンポの小数点を設定できます。

画面・各部の説明

音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[メロディー]

→[コード]

→[ベース]

→[アルペジオ] を選択します。

例：メロディーの音色画面

※コード・ベース・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



音色一覧

確定して閉じる

選択した音色を確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。(画面の詳細は15ページをご覧ください)

音色を設定する小節範囲を指定します。

キャンセル

音色の変更をせずに画面を閉じます。



選択している音色を再生します。



再生を停止します。

音色一覧

楽器の音色を128種類表示しています。

好きな楽器を選択して「確定して閉じる」をクリックします。

画面・各部の説明

音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[メロディー]

→[コード]

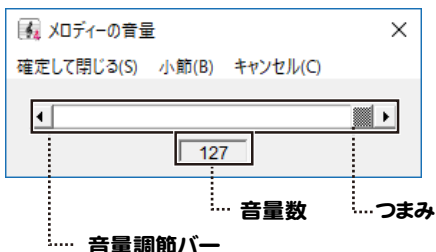
→[ベース]

→[ドラム]

→[アルペジオ] を選択します。

例：メロディーの音量画面

※コード・ベース・ドラム・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



確定して閉じる

調節した音量を確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。

(画面の詳細は15ページをご覧ください)

音量を設定する小節範囲を指定します。

キャンセル

音量の変更をせずに画面を閉じます。

音量調節バー

つまみを左右にドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して、音量を調節します。

音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

(0～127の間で設定)

ステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[メロディー]

→[コード]

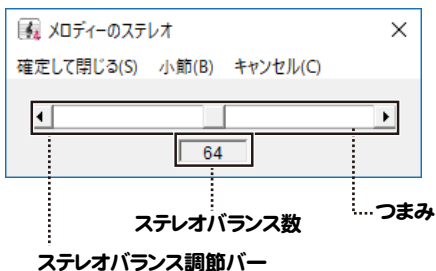
→[ベース]

→[ドラム]

→[アルペジオ] を選択します。

例：メロディーのステレオ画面

※コード・ベース・ドラム・アルペジオを選択した場合も同様の画面になります。



確定して閉じる

調節したステレオバランスを確定して画面を閉じます。

小節

「小節(範囲指定)」画面を表示します。

(画面の詳細は15ページをご覧ください)

ステレオバランスを設定する小節範囲を指定します。

キャンセル

ステレオバランスの変更をせずに画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

つまみを左右にドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して、ステレオバランスを調節します。

ステレオバランス数

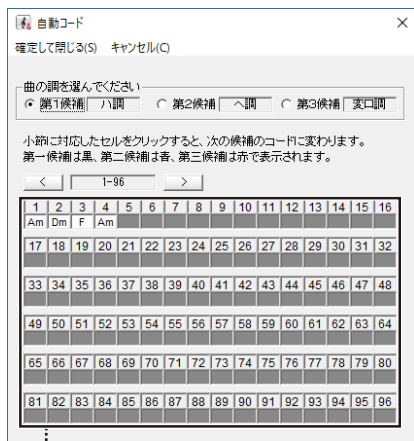
ステレオバランス調節バーで調節したバランス数が

表示されます。(0～127の間で設定)

画面・各部の説明

自動コード画面

[曲全体の設定]メニュー→[自動コード]を選択します。



... 小節のコード表示

この画面では、メロディーに合ったコード(和音)を自動でつけることができます。

確定して閉じる

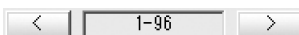
選択した自動コードを確定して画面を閉じます。

キャンセル

自動コードの変更を確定せずに画面を閉じます。

曲の調を選んでください

○第1候補 ○第2候補 ○第3候補から○をクリックして、使用する曲の調を選びます。曲の調を変更すると、「小節のコード表示」全体のコードが変更されます。



< > ボタンをクリックして、小節番号のページ表示を切り替えます。

6ページ(1～510小節分)まで表示されます。

小節のコード表示

小節番号



コード

小節番号

小節番号を表示します。

コード

曲の調を変更すると、コード表示が変わります。

コードの枠内を1回クリックすると、第2候補のコード、2回クリックすると、第3候補のコードに変更されます。

画面・各部の説明

小節の挿入と削除画面

[曲全体の設定]メニュー→[小節の挿入と削除]を選択します。
チャンネルが「声」の時に使用可能な機能です。



小節表示

曲に前奏をつけたい時や、曲を繰り返したい時などに使用すると便利です。

キャンセル

小節の挿入と削除をキャンセルして画面を閉じます。

コピー

選択した小節をコピーします。

削除

選択した小節を削除します。

挿入

コピーした小節を選択した小節に挿入します。

やり直し

小節の選択を解除します。



ボタンをクリックして、小節番号のページ表示を切り替えます。

9ページ(1～509小節分)まで表示されます。

小節表示

小節番号が表示されます。

ピンク色:小節番号をクリックして、小節が選択された状態の時、ピンク色になります。

小節のコピーや削除ができます。

黄色:小節を選択した(ピンク色)の後、

挿入先の小節番号をクリックすると黄色になります。

※小節の分解能が16に設定してある場合は、2小節ごとの処理になります。

小節の分解能が32に設定してある場合は、1小節ごとの処理になります。

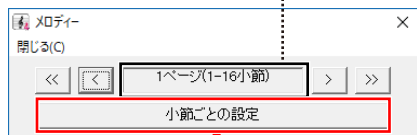
※タイを設定している時

前の小節から次の小節に音符がタイによって続いている場合、タイが解除され次の小節の頭は休符になりますが、「音符入力」で、次の小節の頭の休符を外すと、再びタイが付いた状態になります。

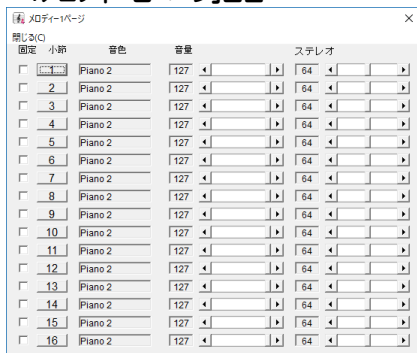
画面・各部の説明

小節ごとの設定 メロディー画面

設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック
→「メロディー〇ページ」画面



[小節ごとの設定]メニュー→[メロディー]を選択します。

閉じる

メロディー画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの
小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

閉じる

「メロディー〇ページ」画面を閉じます。

固定

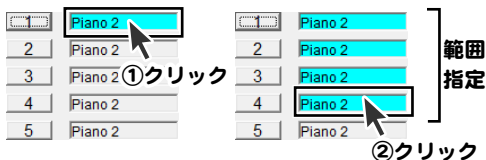
チェックを入れると、曲全体の設定などで設定が変更されないように、設定を固定します。

小節

クリックすると、メロディーの音色画面を表示して、1小節ごとまたは指定した範囲の音色の変更ができます。
(音色画面の詳細は22ページ)

音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。
クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。



音量

現在設定されている音量の数値が表示されています。
調節バーのつまみをドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)して音量を設定します。

ステレオ

現在設定されているステレオバランスの数値が表示されています。

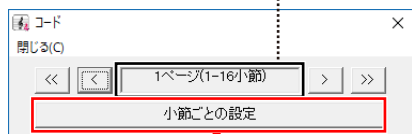
調節バーのつまみをドラッグ(左クリックしたままマウスを移動)してステレオバランスを設定します。

画面・各部の説明

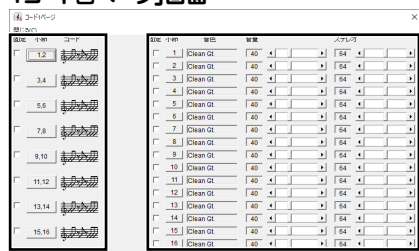
小節ごとの設定 コード画面

[小節ごとの設定]メニュー→[コード]を選択します。

設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック
「コードロページ」画面



リズムパターン 音色・音量・ステレオ設定

閉じる

コード画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

閉じる

「コードロページ」画面を閉じます。

リズムパターン

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、リズムパターン画面を表示します。

コードのリズムを変更できます。

(リズムパターン画面の詳細は15ページ)

コード

現在設定されているリズムを表示しています。

音色・音量・ステレオ設定

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、コードの音色画面を表示します。

コードの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。(27ページ参照)

音量

メロディーと同様です。

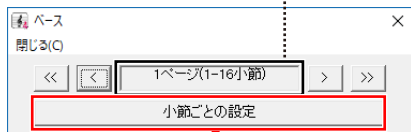
ステレオ } 27ページをご参照ください。

画面・各部の説明

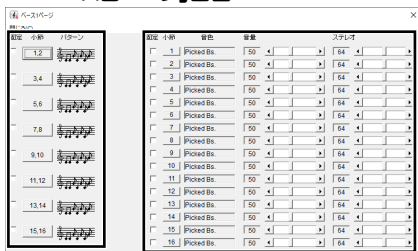
小節ごとの設定 ベース画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ベース]を選択します。

設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック
→「ベース□ページ」画面



ベースパターン 音色・音量・ステレオ設定

閉じる

ベース画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

閉じる

「ベース□ページ」画面を閉じます。

ベースパターン

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、ベースパターン画面を表示します。

ベースパターンを変更できます。

(ベースパターン画面の詳細は17ページ)

パターン

現在設定されているベースパターンを表示しています。

音色・音量・ステレオ設定

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、ベースの音色画面を表示します。

ベースの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。(27ページ参照)

音量

ステレオ

メロディーと同様です。

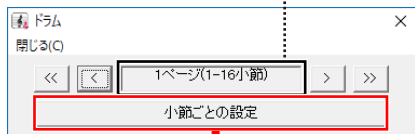
27ページをご参照ください。

画面・各部の説明

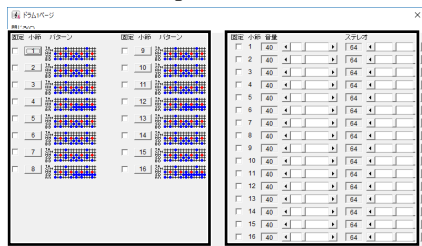
小節ごとの設定 ドラム画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ドラム]を選択します。

設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック
→「ドラム□ページ」画面



ドラムパターン

音量・ステレオ設定

閉じる

ドラム画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページ(小節範囲)を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

閉じる

「ドラム□ページ」画面を閉じます。

ドラムパターン

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、ドラムパターン画面を表示します。

ドラムパターンを変更できます。

(ドラムパターン画面の詳細は19ページ)

パターン

現在設定されているドラムパターンを表示しています。

音量・ステレオ設定

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

小節番号が表示されます。

音量

ステレオ

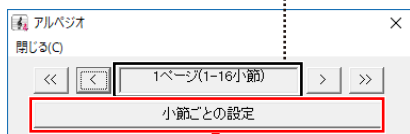
メロディーと同様です。

27ページをご参照ください。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 アルペジオ画面

設定する小節範囲



[小節ごとの設定]ボタンをクリック
→「アルペジオ0ページ」画面



アルペジオパターン 音色・音量・ステレオ設定

[小節ごとの設定]メニュー→[アルペジオ]を選択します。

閉じる

コード画面を閉じます。



1回クリックするごとに、10ページ単位で表示を切り替えます。



1回クリックするごとに、1ページずつ表示を切り替えます。

設定する小節範囲

設定する小節範囲を表示しています。

小節ごとの設定

「設定する小節範囲」で表示しているページの小節を個々に設定する画面を表示します。(下記参照)

閉じる

「アルペジオ0ページ」画面を閉じます。

アルペジオパターン

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、アルペジオパターン画面を表示します。

アルペジオパターンを変更できます。

(アルペジオパターン画面の詳細は21ページ)

パターン

現在設定されているアルペジオパターンを表示しています。

音色・音量・ステレオ設定

固定

曲全体の設定などで設定が変更されないように、チェックを入れて設定を固定します。

小節

クリックすると、アルペジオの音色画面を表示します。

アルペジオの音色を変更できます。

(音色画面の詳細は22ページ)

音色

現在設定されている音色の種類が表示されています。

クリック操作で範囲指定して音色を変更することができます。(27ページ参照)

音量

ステレオ

メロディーと同様です。

27ページをご参照ください。

画面・各部の説明

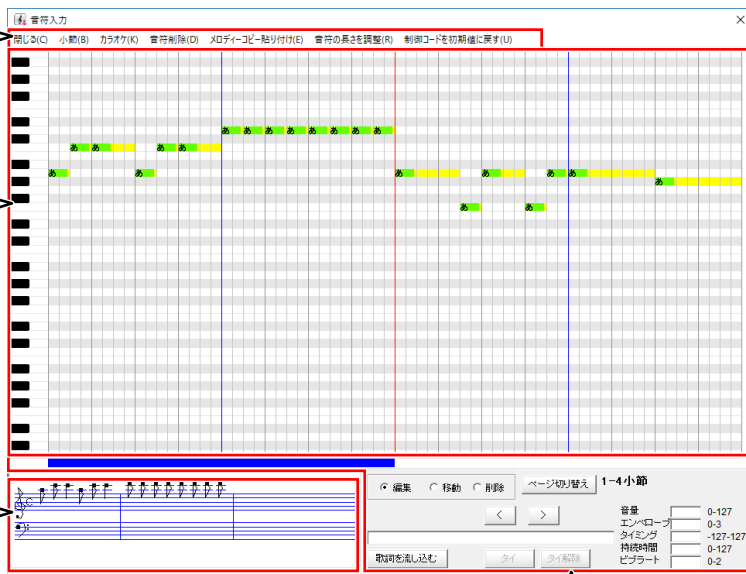
音符入力画面

メイン画面の[音符入力]メニューを選択すると表示されます。

1 メニューバー

2 音符表示・入力エリア

4 五線譜



3 音符入力・表示の設定欄

1 メニューバー

閉じる(C) 小節(B) カラオケ(K) 音符削除(D) メロディーコピー貼り付け(E) 音符の長さを調整(R) 制御コードを初期値に戻す(U)

閉じる

音符入力画面を閉じます。

小節

小節の選択画面を開きます。編集する小節を選択します。(詳細は38ページをご覧ください)

カラオケ

「実行」を選択すると、曲全体の音符を削除します。※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

音符削除

「実行」を選択すると、音符入力エリアに表示されている音符を削除します。

※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

メロディーコピー貼り付け

メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。(詳細は38ページをご覧ください)

小節単位でメロディーのコピー・貼り付けができます。

音符の長さを調整

音符の長さを調整画面を表示します。(詳細は39ページをご覧ください)

音符の長さを調整して3連符などを作ります。

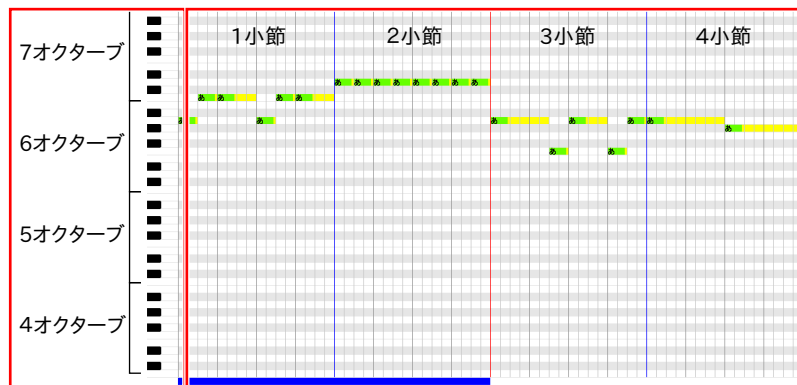
制御コードを初期値に戻す

声の調整コードを初期値に戻します。

画面・各部の説明

2 音符表示・入力エリア

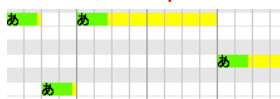
1小節の分解能が16の場合は4小節、32分解能の場合は2小節ずつ表示します。(下図は分解能16)



B	シ
A#	ラ#(シ)
A	ラ
G#	ソ#(ラ)
G	ソ
F#	ファ#(ソ)
F	ファ
E	ミ
D#	レ#(ミ)
D	レ
C#	ド#(レ)
C	ド

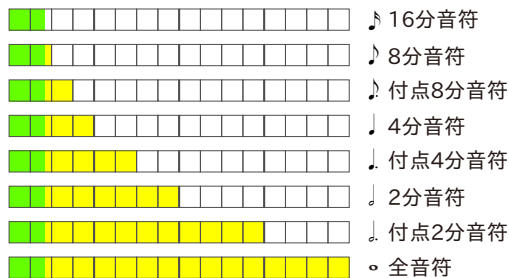
コード音階

※五線譜には $\flat$ は表記されず、 $\sharp$ の音符で表記されます。

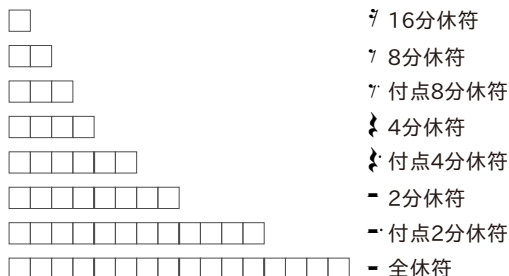


音符を入力、歌詞を表示をします。
緑色と黄色の枠が音符の長さを表します。
緑色の枠は歌詞が入ります。

1小節の分解能
「16」の場合

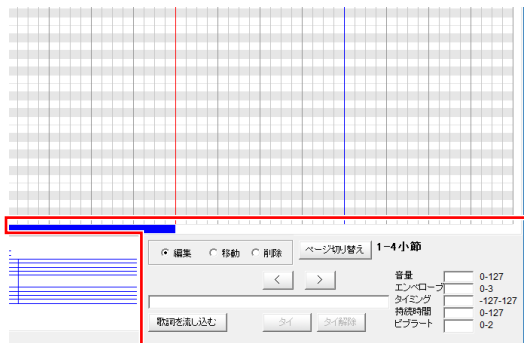


空白にすると、休符になります。



画面・各部の説明

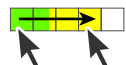
3 音符入力・表示の設定欄



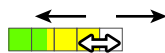
音符を入力・長さを変更する時



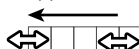
入力モードは「編集」を選択します。
左から右へドラッグして音符を入力します。



音符の長さの末尾にマウスポインターを合わせて
ドラッグすると、音符の長さを変更できます。



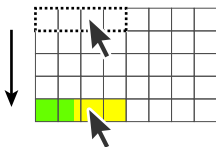
右にドラッグして音符を伸ばします。
左にドラッグして音を短くします。
一番左までドラッグすると音符を削除できます。



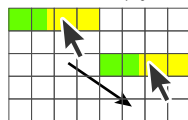
音符を移動する時



入力モードは「移動」を選択します。
音符の上にマウスポインターを合わせて
ドラッグすると音符の位置を移動できます。



音符の上にマウスポインターを合わせて
「Ctrl」キーを押しながらドラッグすると
コピーされます。



音符を削除する時



入力モードは「削除」を選択します。
音符をクリックすると、セル単位で削除します。

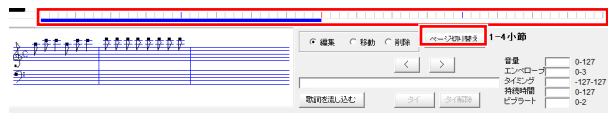
画面・各部の説明

ページ切り替え

音符表示・入力エリアは、

青いバー  があるページを編集できます。

このボタンをクリックすると、青いバーが移動します。



ボタンを押すと前のページ、次のページを表示します。



歌詞を流し込む

音符入力・表示エリアの音符に歌詞をつけます。

入力欄に歌詞を入力して、**歌詞を流し込む** ボタンをクリックします。

入力欄には、全てひらがな、空白なしで書き込みます。

タイ タイ解除

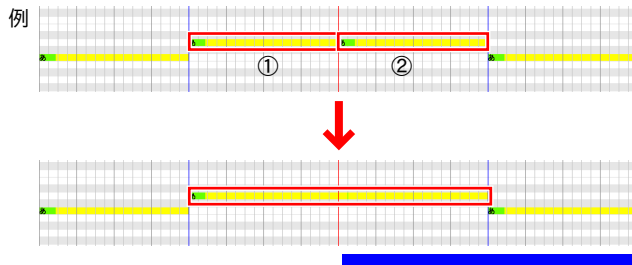
偶数小節の最後の音符と奇数小節の最初の音符をつなげます。

タイ ボタンは、画面中央の小節の最後の音符と最初の音符をつなげて1つの音符にします。

(中央の赤線の左右の音符)

タイ解除 ボタンは、画面中央でつながった音符を2つの音符に分けます。

音符の編集は、[タイ解除]の状態で行ってください。



右側のページに切り替えて、**タイ** ボタンをクリックすると、

①と②の音がタイになります。

※タイとは、連続する2つの同じ高さの音符をつなげて演奏することをいいます。

画面・各部の説明

音量		0-127
エンベロープ		0-3
タイミング		-127-127
持続時間		0-127
ビブラート		0-2

各音符には、声を調整するための制御コードがついています。
音符表示・入力エリアの音符の上を右クリックすると、
その音符の制御コードが画面の右下に表示されます。
数値を更新する場合は、入力欄に数値を直接入力して書き換えます。

音量

音1つ1つに設定する音量です。
セット可能な数値は、0～127です。(初期値は、127にセットされています)

エンベロープ

音量の変化を決めます。
セット可能な数値は、0～3です。(初期値は、3にセットされています)

- 0: 元の音を変えません。
- 1: 音の出だしが一番大きく、序所に減衰します。
- 2: 音の出だしは小さく、序所に大きくなり、再び減衰します。
- 3: 音の出だしは小さく、序所に大きくなります。

タイミング

音の出だしのタイミングを設定します。
セット可能な数値は、-127～127です。(初期値は、0にセットされています)

- 0より大きい値: 早いタイミングで音を出します。
- 0より小さい値: 遅いタイミングで音を出します。

持続時間

音の持続時間を設定します。
セット可能な数値は、0～127です。(初期値は、100にセットされています)

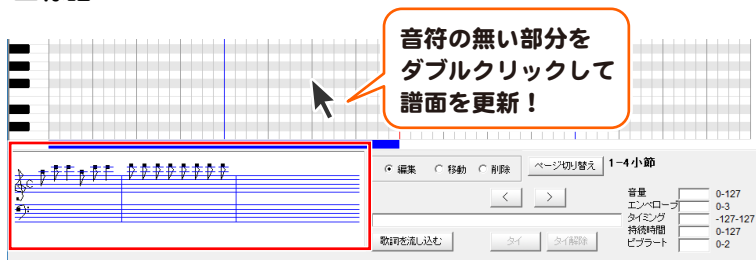
ビブラート

母音にビブラートをかけます。
セット可能な数値は、0～2です。(初期値は、0にセットされています)

- 0: はビブラートをかけません。
- 1: は浅いビブラートをかけます。
- 2: は深いビブラートをかけます。

画面・各部の説明

4 五線譜

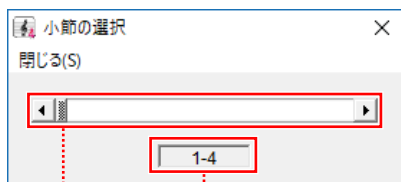


音符入力・表示エリアの青いバーのあるページの音符を五線譜で表示します。
更新するためには、音符の無い部分をダブルクリックします。

画面・各部の説明

小節の選択画面

音符入力画面の[小節]メニューを選択します。



小節選択バー

選択小節表示

閉じる

小節の選択画面を閉じます。

小節選択バー

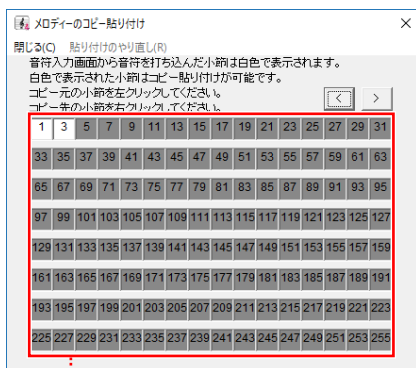
両端の ◀ ▶ をクリックして表示する小節の範囲を設定します。

選択小節表示

現在選択している小節を表示します。

メロディーのコピー貼り付け画面

音符入力画面の[メロディーコピー貼り付け]メニューを選択します。



小節セル

閉じる

メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。

貼り付けのやり直し

1つ前の貼り付け作業をやり直します。

小節セル

小節を一覧でセル表示します。

小節の分解能を16に設定してある場合は、2小節ごとにコピー貼り付けができます。

小節の分解能を32に設定してある場合は、1小節ごとにコピー貼り付けができます。



セルの色:白

コピー、貼り付けが可能な小節です。

セルの色:ピンク

セルを左クリックすると、ピンク色になります。コピー元になります。

セルの色:黄色

セルを右クリックすると、黄色になります。コピーしたメロディーが貼り付けられます。コピー元を何箇所にも貼り付けることができます。

画面・各部の説明

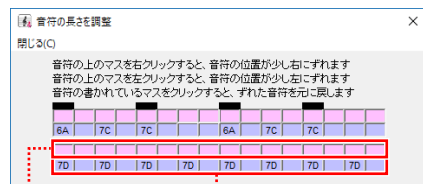
音符の長さを調整画面

音符入力画面の[音符の長さを調整]メニューを選択します。

音符の長さを少しだけ短く、または長くすることができます。(長さは3連符に対応)

この機能を使って3連符をつくることができます。

3連符だけでなく、メロディーの音符を早めたり遅らせたりすることで、曲に自然な揺らぎをつける効果があります。



音符の上のマスを

音符のマスを

閉じる

「音符の長さを調整」画面を閉じます。

音符の上のマス

音符の音の再生位置を右、もしくは左にずらすことができます。

R **R** ピンクのマスを右クリックすると、音符の音が少し遅れて再生されます。

楽譜では、音符が少し右に動き、紫色の音符になります。

L **L** ピンクのマスを左クリックすると、音符の音が少し早く再生されます。

楽譜では、音符が少し左に動き、緑色の音符になります。

音符のマス

音符入力画面で入力された音符が表示されます。

5G このマスをクリックすると、ずらした音符を元に戻すことができます。

設定したL,Rの表示が消えます。

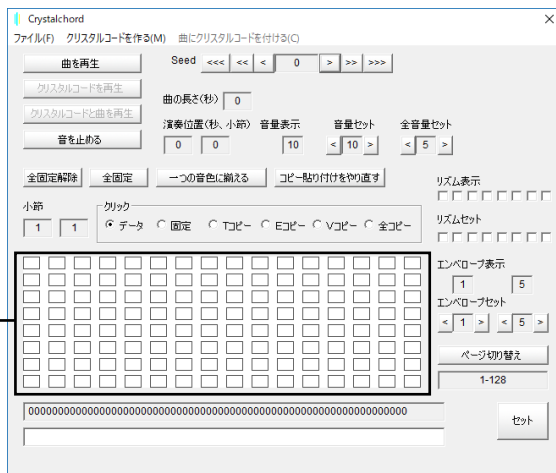


画面・各部の説明

Crystalchord画面

WAVEファイルを作成してから、メイン画面の[クリスタルコード]メニューを選択します。

小節のアイコン表示



ファイル(F) クリスタルコードを作る(M) 曲にクリスタルコードを付ける(C)

ファイル(F)

クリスタルコードを開く(O)
名前を付けてクリスタルコードを保存(R)
名前を付けてWAVEを保存(A)
WAVEを上書き保存(S)
終了(X)

クリスタルコードを開く

以前に作成、保存したクリスタルコードを開きます。

名前を付けてクリスタルコードを保存

作成したクリスタルコードを名前を付けて保存します。

名前を付けてWAVEを保存

クリスタルコードを付けた曲を、WAVE形式で名前を付けて保存します。

WAVEを上書き保存

クリスタルコードを付けたWAVE形式の曲に上書き保存します。

終了

Crystalchord画面を閉じます。

クリスタルコードを作る(M)

クリスタルコードを作る

クリスタルコードを作成します。

全固定解除 ボタン(41ページ)をクリックすると、全小節に新しい音色が作成されます。

Seed (41ページ)を変えると、違う音色を作成します。

曲にクリスタルコードを付ける(C)

曲にクリスタルコードを付ける

メイン画面で作った曲にクリスタルコードをつけて再生します。

画面・各部の説明

曲を再生

曲を再生

メイン画面で作った曲(WAVEファイル)を再生します。

クリスタルコードと曲を再生

クリスタルコードと曲を再生

[曲にクリスタルコードを付ける]メニューで作成した曲を再生します。

Seed <<< << < 0 > >> >>>

Seed

音色を作るための乱数の系列を選択します。
数値を変更しながら、気に入った音色を見つけます。

演奏位置(秒、小節)

8 4

演奏位置(秒、小節)

再生中の「秒」と「小節」が表示されます。

音量セット

< 10 >

音量セット

各小節ごとに音量を設定します。
[小節のアイコン表示](43ページ)内で選択した小節の音量を設定します。

クリスタルコードを再生

クリスタルコードを再生

[クリスタルコードを作る]メニューで作成したクリスタルコード列を再生します。

音を止める

音を止める

再生中の曲を止めます。

曲の長さ(秒) 8

曲の長さ(秒)

曲の長さ(秒)を表示します。

音量表示

10

音量表示

[小節のアイコン表示](43ページ)内でマウスカースルの位置にある小節の音量が表示されます。

全音量セット

< 5 >

全音量セット

メイン画面で作成した曲にクリスタルコードをつける時の音量のバランスの調節をします。
[曲にクリスタルコードを付ける]メニューをクリックする前にセットすると、設定した音量が反映されます。

全固定

全固定

全小節の音色が固定されます。
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックしても音色は変わりません。

全固定解除

全固定解除

全小節に対して、確定している[音色]を無効にします。
[全固定解除]ボタンをクリックして、
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックすると、
全小節に新しい音色が作成されます。

画面・各部の説明

一つの音色に揃える

一つの音色に揃える

ある1つの小節の音色を全小節にコピーします。
まず[クリック]内の[Tコピー]を選択し、
[小節のアイコン表示]内でコピーする小節のアイコンを
クリックし、一つの音色に揃える ボタンをクリックします。

小節

115 1

小節

左のボックス: [小節のアイコン表示]のアイコンにマウスポインターを合わせた時、そのアイコンの小節番号が表示されます。

右のボックス: [小節のアイコン表示]のアイコンをクリックすると、そのアイコンの小節番号が表示されます。
(曲がある小節範囲のみ)

クリック

☒ データ ☐ 固定 ☐ Tコピー ☐ Eコピー ☐ Vコピー ☐ 全コピー

クリック

[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックした場合の操作を選択します。

データ

[小節のアイコン表示]内で各小節のアイコンをクリックすると、
その小節のコード、リズム、エンベロープ、音色が変更可能になります。

固定

[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックする度に、
音色の「固定」と「非固定」が切り替わります。
小節の右側の色が、青の場合「固定」、赤の場合「非固定」です。



赤の場合「非固定」



青の場合「固定」

Tコピー

小節間で音色のコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
 - ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け
- 音色は、[小節のアイコン表示]内の小節アイコンの左側の色で表されています。

音色を表す色……



Eコピー

小節間でエンベロープのコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
 - ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け
- エンベロープは、[小節のアイコン表示]の小節アイコンの縦線と横線で表されています。
縦線はリズムに対応し、横線はエンベロープに対応しています。



アイコン拡大図

画面・各部の説明

Vコピー

小節間で音量のコピー貼り付けができます。

- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
- ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け
音量は、[小節のアイコン表示]の小節アイコンの一番下の横線で表されています。

例: 音量10 

音量5 

全コピー

小節間で全パラメータのコピー貼り付けができます。

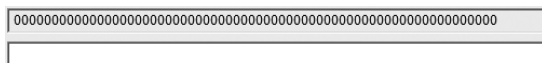
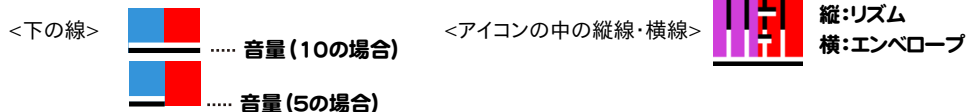
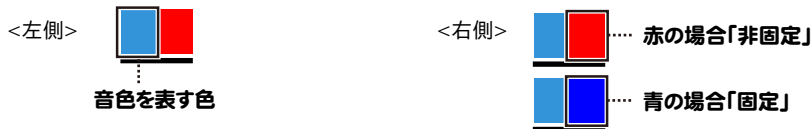
- ①[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節アイコンをクリックしてコピー
- ②[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節アイコンを右クリックして貼り付け



小節のアイコン表示

全小節の状態を色で表します。1つのアイコンが1小節に対応しています。

- ・1つのアイコンの左側は音色を表し、右側は音色が固定/非固定を表します。
- ・下の線は、音量を表します。
- ・1つのアイコンの縦線はリズムを表し、横線はエンベロープを表します。



音色表示、音色セット

音色は、64桁の数字で表示されます。

気に入った音色は、コピーして、テキストファイルとして保存し、別の曲に貼り付けることができます。

上のボックス:[小節のアイコン表示]のアイコンにマウスカーソルをあわせた時、そのアイコンの音色の数字を表示します。

下のボックス:各小節に音色をセットする際に使用します。

- ①「クリック」設定欄で「データ」にチェックを入れます。
- ②目的の小節アイコンをクリックすると、その小節の音色(64桁の数字)が表示されます。
コピーや貼り付け、数値入力ができます。
- ③画面右下の「セット」ボタンをクリックすると、設定した内容が確定されます。
- ④「クリスタルコードを作る」をクリックします。

画面・各部の説明

リズム表示



リズム表示

[小節のアイコン表示]の小節アイコンにマウスカーソルを合わせた時、その小節のリズムを表示します。

リズムセット

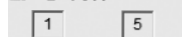


リズムセット

[小節のアイコン表示]内で選択した小節にリズムを設定する場合に使用します。

リズムは、4拍子の場合は1小節を8等分に、3拍子の場合は1小節を6等分にわけることで作ります。

エンベロープ表示



エンベロープ表示

音の波形の前半と後半の形を決めます。

数字が小さいとエンベロープが短く、数字が大きくとエンベロープが長くなります。

※エンベロープを使うためには、リズムにチェックが入っていなければなりません。

[小節のアイコン表示]の小節アイコンにマウスカーソルを合わせた時、その小節のエンベロープを表示します。

エンベロープセット



エンベロープセット

[小節のアイコン表示]で選択した小節に、エンベロープを設定する場合に使用します。

ページ切り替え

1-128

ページ切り替え

メイン画面では最大で510小節の曲を作成できますが、クリスタルコードは254小節まで設定できます。

クリスタルコードの画面は128小節ずつのアイコンが表示されます。

ボタンをクリックすると、次ページを表示します。

セット

セット

設定した内容を確認して、[クリスタルコードを作る]メニューでクリスタルコードを作成します。

よくあるお問い合わせ

インストール・起動について

Q : インストールができない

A : 以下の項目をご確認ください。

- ウイルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

Q : 管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようとする「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」と表示されてインストールができません。

A : 本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

Q : 完全アンインストールの方法を教えてください

A : OSごとに次の手順で行ってください。

【Windows 7の場合】

1. 「アンインストール方法」(冊子取扱説明書5ページ)より、アンインストール作業を行います。
2. スタート→コンピューター→Cドライブ→ProgramData(※)→IRT→daremusic4フォルダーを削除します。

【Windows 8.1の場合】

1. 「アンインストール方法」(冊子取扱説明書5ページ)より、アンインストール作業を行います。
2. スタートを右クリック→エクスプローラー→Cドライブ→ProgramData(※)→IRT→daremusic4フォルダーを削除します。

【Windows 10の場合】

1. 「アンインストール方法(冊子取扱説明書5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. 「スタート」を右クリック→「エクスプローラー」→画面左側「PC」をクリックします。
Cドライブ→ProgramData(※)→IRT→daremusic4フォルダーを削除します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

隠しフォルダーの表示方法

【Windows 7】

「スタート」→「コンピューター」→Cドライブを開いた後、画面左上「整理」→「フォルダーと検索のオプション」をクリックします。

[表示]タブ→詳細設定:ファイルとフォルダの表示[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→「適用」→「OK」をクリックします。

【Windows 8 / 8.1】

「スタート」を右クリック→「エクスプローラー」をクリック、Cドライブを開いた後、画面左上 [表示]タブ→「□隠しファイル」にチェックを付けます。

【Windows 10】

「スタート」を右クリック→「エクスプローラー」→画面左側「PC」をクリック→Cドライブを開いた後、[表示]タブ→「□隠しファイル」にチェックを付けます。

よくあるお問い合わせ

Q: ソフトの起動ができません

A: 以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器（ハードディスクやUSBメモリ等）にソフトをインストールしている場合、それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。）

操作について

Q: 数字や文字が入力できません 入力しているのに登録されない

A: 次の内容をご確認ください。

- ・入力する欄でカーソルが点滅しているか(例: 名前を入力する場合は、名前欄の枠の中でカーソルが点滅)
- ・キーボードの設定(NumLockキーのオン／オフ等)
- ・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)
- ・日付や数字を入力する際、半角で入力しているか
- ・漢字やひらがなを入力する際、全角で入力しているか

Q: 小節はいくつまで作成できますか

A: 510小節まで作成できます。

Q: 歌詞にアルファベットを入れたい

A: 歌詞はひらがなのみになります。

Q: 保存できる形式は?

A: MIDI / WAVEです。楽譜はBMPで保存できます。

Q: 小節ごとにコード数が異なるコード作成はできますか

A: 小節ごとにコード数が異なるコード作成を行うことはできません。

Q: コードを作成したい

A: 「曲全体の設定」の「コードを作成」で作成できます。作成できるコードの数は1,000個です。
詳細については冊子取扱説明書83～85ページをご覧ください。

Q: 「作曲」ボタンを押しても自動作曲ができない

A: コードが固定になっている場合に、自動でメロディーが表示されません。
固定を外して「作曲」ボタンを押してください。

Q: 曲のデータを名前を付けて保存ができない

A: 「作曲」ボタンを押してから保存してください。

よくあるお問い合わせ

その他

Q:CDやDVDに保存するにはどうすればいいの？

A:本ソフトはCD、DVD等へ直接保存する機能はありません。

CD、DVDに保存する際には対応OSで動作するライティングソフトが必要です。

Q:複数のユーザーで使用できますか？

A:本ソフトは、『1ソフト・1PC』でご利用いただくソフトです。

1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

Q:他のパソコンとの共有はできますか？

A:本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。

ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

Q:入力した文字が文字化けしてしまいます

A:ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

Q:画面の一部が切れた状態で表示される

A:画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

【Windows7の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→「画面の解像度」をクリックします。

解像度を1024×768以上に設定し、「適用」→「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

【Windows 8.1の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→画面の解像度をクリックします。

解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

【Windows 10の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→「ディスプレイ設定」をクリックします。

解像度を1024×768以上に設定して設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

よくあるお問い合わせ

**Q: ボタンの表示がずれている、ボタンをクリックしても反応しない
印刷するとずれて印刷される**

A: 以下の手順にてDPI設定をご確認ください。

【Windows 7の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→「画面の解像度」をクリックします。

「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックします。

小-100%にチェックを入れ「適用」をクリックします。

「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、

「今すぐログオフ」をクリックします。

パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

【Windows 8.1の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→「画面の解像度」をクリックします。

右「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックします。

小-100%にチェックを入れ「適用」をクリックします。

「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります。」と確認を求められますので、

「今すぐサインアウト」をクリックします。

パソコンからサインアウトされますので、再度サインインすると設定完了です。

【Windows 10の場合】

デスクトップの何もないところで右クリック→「ディスプレイ設定」をクリックします。

「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を100%に設定し、パソコンを再起動します。

よくあるお問い合わせ

Q:「2018 ***」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A: Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。

以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

【Windows 7の場合】

1. 「スタート」をクリック→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
3. 「形式」タブを選択して、「日本語(日本)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
4. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
5. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 8.1の場合】

1. 「スタート」を右クリック→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「時計、言語および地域」→「地域」をクリックします。
3. 「形式」タブをクリックして形式が「日本語(日本)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
4. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダー」 西暦(日本語)
5. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 10の場合】

1. 「スタート」を右クリック→「設定」をクリックします。
2. 「時刻と言語」をクリックします。
3. 日付と時刻が表示されます。左側の「地域と言語」をクリックします。
4. 画面を下にスクロールし、「日付、時刻、地域の追加設定」をクリックします。
5. 時計、言語、および地域の画面が表示されましたら、「地域」をクリックします。
6. 「形式」タブをクリックして形式が「日本語(日本)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
7. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダー」 西暦(日本語)
8. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows OSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。弊社では一切の責任を負いかねます。

お問い合わせ窓口

メールでのお問い合わせ

E-mail info@irtnet.jp

サポート対応時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

本ソフトに関するご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など下記の例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メールにてユーザーサポートまでご連絡ください。

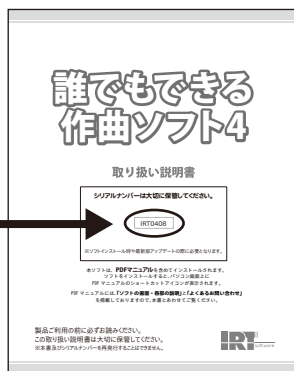
○ソフトのタイトル・バージョン

例:「誰でもできる作曲ソフト4」

○ソフトのシリアルナンバー

冊子取扱説明書の表紙に貼付されています。

**シリアルナンバーシール
貼付場所**



○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 10 Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:Internet Explorer 11

・パソコンの仕様

例:SONY XXXX-XXX-XX PentiumIII 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例:～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、
弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

お問い合わせ窓口

IRTホームページ

URL <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

10分間電話サポート(予約制)サービス

10分間電話予約サポート(予約制)をご利用になるには、事前にユーザー登録が必要となります。下記ページからユーザー登録をおこなってください。
※ユーザー登録の際は、シリアル番号の入力が必須となります。
シリアル番号は、本書の表示に貼付しています。

IRTホームページ ユーザー登録ページ

URL <http://irtnet.jp/user/>

10分間電話予約サポート(予約制)の詳しい内容は下記の弊社サポートページをご覧ください。

IRTホームページ サポートページ

URL <http://irtnet.jp/support.htm>

※サポートサービスは、予告無く変更、または終了する場合があります。
最新のサポート情報は、弊社ホームページ(上記)をご覧ください。